

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2010年第16週
(4月19日～4月25日)

- * 2010年4月28日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2010年3月)の疾患及び感染症豆知識
「インフルエンザ2009.5～2010.3」も掲載しています。

平成22(2010)年4月30日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2010年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	75	48	61	45	1162	270	6846
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		2
	細菌性赤痢	2	2	1	2	24	2	49
	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	2	3	41	13	337
	腸チフス				1	1	1	8
	パラチフス					2		9
四類	E型肝炎					5		22
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2	2		2	19	15	144
	エキノコックス症							1
	黄熱							
	オウム病							2
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					3	1	33
	デング熱		1		2	11	3	42
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1		8
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1	2		8		20
	野兔病							
	ライム病					1		3
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		2	
レジオネラ症	1		1	1	10	2	149	
レプトスピラ症					1		1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	4	3	50	7	239
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	3	1			15		54
	急性脳炎 *2					8	2	84
	クリプトスポリジウム症					1		3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				4	3	46
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	5	4	43
	後天性免疫不全症候群	10	10	9	5	148	12	397
	ジアルジア症	2				5	1	23
	髄膜炎菌性髄膜炎							3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	2	4	3	49	5	161
	破傷風					1	1	21
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	6	1	25
	風しん	1	1		1	6	6	31
麻しん	3		4	2	21	12	155	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—	—	—	—	
2010/4/28集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症

*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 45件 肺結核33件、その他の結核12件で、推定感染地は国内44件、不明1件、年齢は10歳代1件、20歳代1件、30歳代5件、40歳代5件、50歳代11件、60歳代9件、70歳代5件、80歳代7件、90歳以上1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 どちらも菌種はソルネ、推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 3件 患者2件、無症状病原体保有者1件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)2件、O103(VT1)1件、年齢は20歳代2件、60歳代1件であった。

腸チフス 1件 患者で年齢は50歳代。推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 2件 推定感染地は国内1件、インド1件、推定感染経路は飲食物(生野菜1件、不明1件)による経口感染であった。

デング熱 2件 どちらも血清型は1型で、推定感染地はインドネシアである。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、年齢は80歳代。推定感染地は長崎県で、水系感染が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ症2件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は全て国内、推定感染経路は飲食物(かき)による経口感染1件、その他(不明)2件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 G群で、壊死軟部組織から菌が分離・同定されている。推定感染経路はその他(不明)であった。

後天性免疫不全症候群 5件 無症候キャリア3件、AIDS1件、その他1件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代2件、30歳代2件、AIDS患者の年齢は40歳代1件である。推定感染地は国内4件、不明1件、推定感染経路は性的接触4件(同性間3件、異性間1件)、不明1件であった。

梅毒 3件 早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候1件。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間2件、異性間1件)であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 血液から菌が分離・同定されている。

風しん 1件 検査診断例で、年齢は20歳代、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

麻しん 2件 どちらも麻しん(臨床診断例)で、年齢は5歳未満1件、20歳代1件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回1件、不明1件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2010年16週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		13週	14週	15週	16週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	17	14	13	7	0.05	148	150
	咽頭結膜熱	17	20	26	36	0.24		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	184	195	209	232	1.57		
	感染性胃腸炎	1,101	1,144	1,240	1,456	9.84		
	水痘	298	243	208	236	1.59		
	手足口病	19	32	38	41	0.28		
	伝染性紅斑	44	50	77	79	0.53		
	突発性発しん	81	82	88	89	0.60		
	百日咳	3	6	5	7	0.05		
	ヘルパンギーナ	7	11	16	27	0.18		
	流行性耳下腺炎	110	107	97	99	0.67		
	不明発しん症(注1)	5	5	11	14	0.09		
MCLS(川崎病)(注1)	6	0	2	2	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	20	23	13	26	0.09	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	3	1	1	0.03	39	39
	流行性角結膜炎	11	21	12	19	0.49		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1	0	0	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	1	0	2	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	5	2	2	9	0.39		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	1	0	0	0.00		

2010/4/28集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続して増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は微増した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微増した。過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。

(定点医療機関からのコメント)

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・百日咳:11歳児と14歳児は兄弟での発症。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス性腸炎2名。

島しょ保健所管内定点医療機関

- ・水痘:家族内感染(兄弟間)。
- ・RSウイルス感染症:3歳児1名RSV(+)、兄弟も同じ症状。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2			20	2			2		
～11か月	1			131	7	3		36		2
1歳	3	9	5	250	49	17	3	41		11
2歳	1	7	15	136	42	9	8	7		7
3歳		10	22	149	44	3	7	3		2
4歳			27	125	35	4	11			2
5歳		5	36	126	22	2	10			
6歳			34	82	11		12			
7歳			27	80	5		10			
8歳		1	21	66	7		4		1	
9歳			11	41	8	1	6			1
10～14歳		2	23	100	4		7		3	1
15～19歳			3	15						
20～29歳		2	8	135		2	1		3	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	7	36	232	1456	236	41	79	89	7	27
先週比	-6	10	23	216	28	3	2	1	2	11

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月	2	2	1	1		1
1歳	4	4	1			1
2歳	6			1		1
3歳	13	3		1	1	
4歳	10	1		1		
5歳	13	1				
6歳	12					
7歳	10	1		7		
8歳	6					
9歳	6					
10～14歳	7	1		3		
15～19歳	3			4		1
20～29歳	7			3		3
30～39歳				3		7
40～49歳				2		1
50～59歳						3
60～69歳						1
70～79歳						
80歳以上						
合計	99	14	2	26	1	19
先週比	2	3		13		7

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年16週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳	1	1
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				3	2					
中央区			4	32	13					
みなと		3	4	64	11	3	1	4	1	4
新宿区	1		3	24	5					
文京			2	21	3	2	2	2		
台東			11	42	6	4				
墨田区			1	18	4		3	2		
江東区			12	73	8	2	2	2		1
品川区			4	69	11		1	5		2
目黒区			3	17	2	2	1	1		
大田区	1	22	13	122	19		1	5		6
世田谷			8	84	9	1	2	5		
渋谷区		1	1	22	3		1	2		
中野区	1		5	54	7	4	7	5		
杉並			5	62	10		2	3		
池袋		1	2	21	8	2		1		
北区			4	31	7	1	2	9		
荒川区		1	1	34	5	1	4	1		3
板橋区			2	31	4	4		2	2	
練馬区		1	10	41	3	4	1	3	1	4
足立		1	8	60	7	1	10	2		
葛飾区			11	35	7	3	16	4		
江戸川			14	68	12	3	8	4	3	1
八王子市	2	3	24	105	16		9	7		2
西多摩			5	31	3		4	2		
南多摩			4	45	11			4		1
町田			27	89	17		1	6		1
多摩立川			4	26	4			1		
多摩府中			19	50	8		1	3		1
多摩小平		3	20	82	10	4		3		1
島しょ	2		1		1			1		
東京都合計	7	36	232	1,456	236	41	79	89	7	27

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年16週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区						1
みなと	3					
新宿区	2	1	1			5
文京	1					2
台東						
墨田区	4					
江東区	1					
品川区	1					
目黒区						3
大田区	6	4		1		2
世田谷	4			7		1
渋谷区	1					
中野区	2	2				1
杉並	2			2		
池袋	2					
北区	2					
荒川区		1		4		
板橋区						
練馬区	3			2		2
足立	2	2	1	2	1	1
葛飾区	13			1		
江戸川	2			1		1
八王子市	5	1		1		
西多摩	3	1				
南多摩	3					
町田	13	1		4		
多摩立川	2					
多摩府中	11	1		1		
多摩小平	11					
島しょ						

東京都合計	99	14	2	26	1	19
-------	----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと	1	
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		1
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		1
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	2
-------	---	---

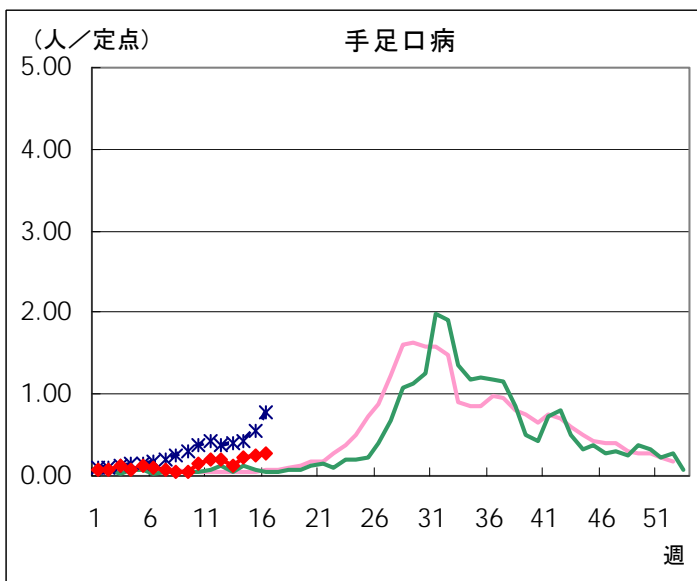
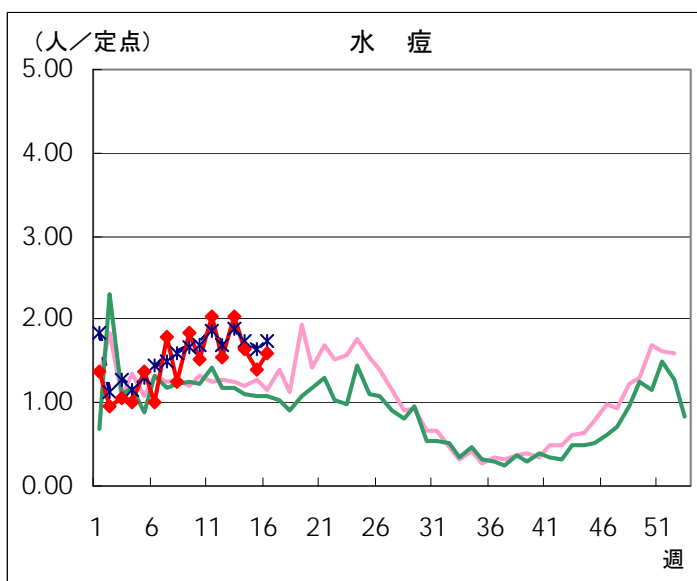
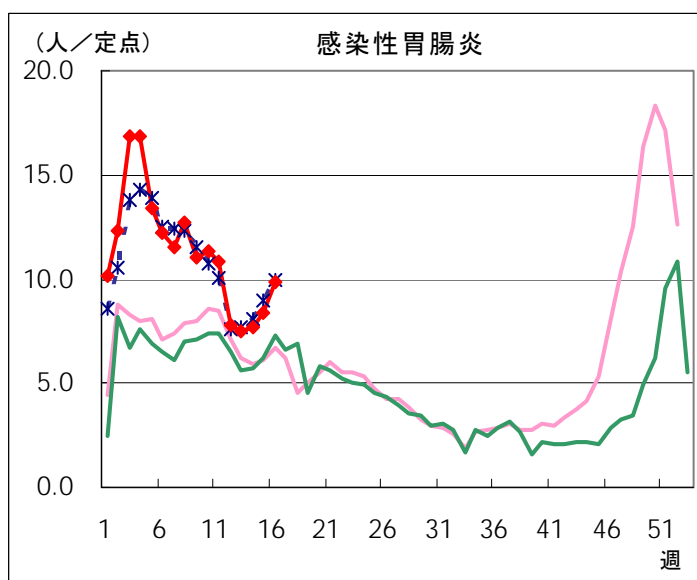
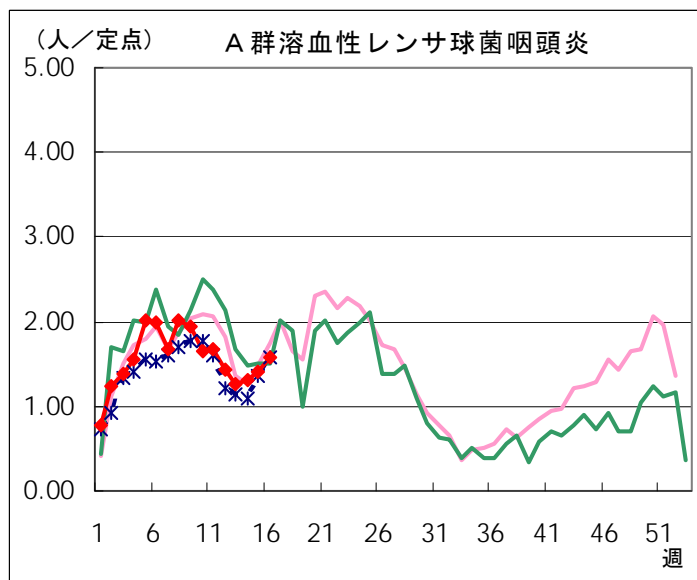
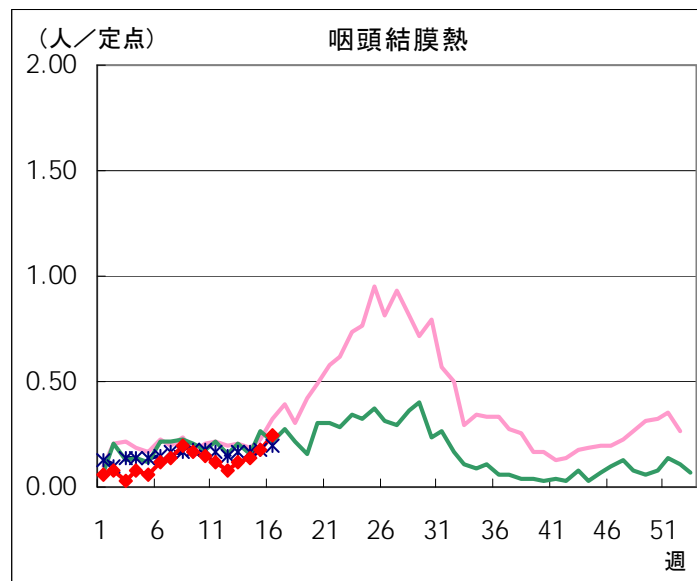
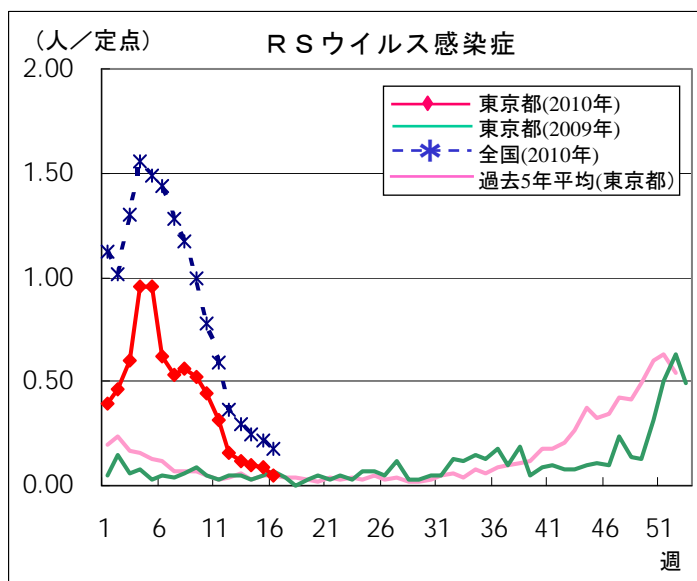
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年16週

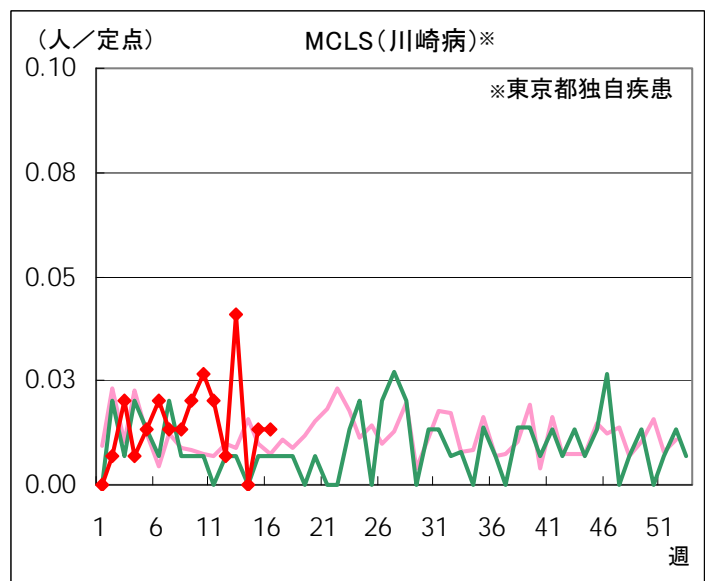
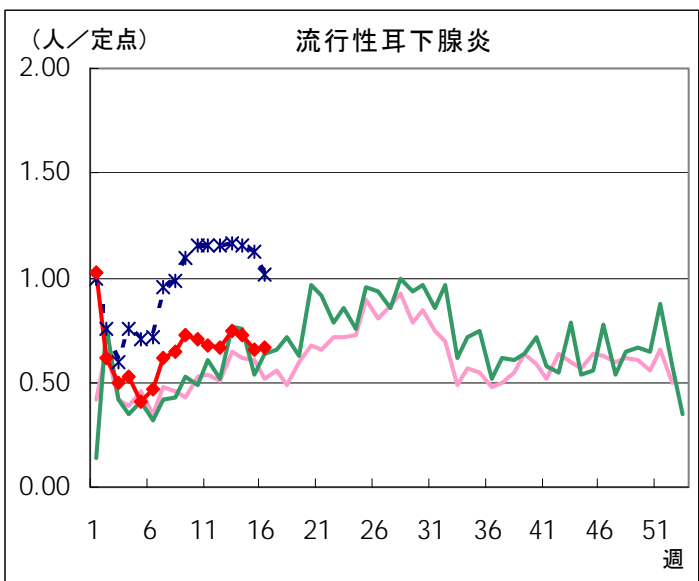
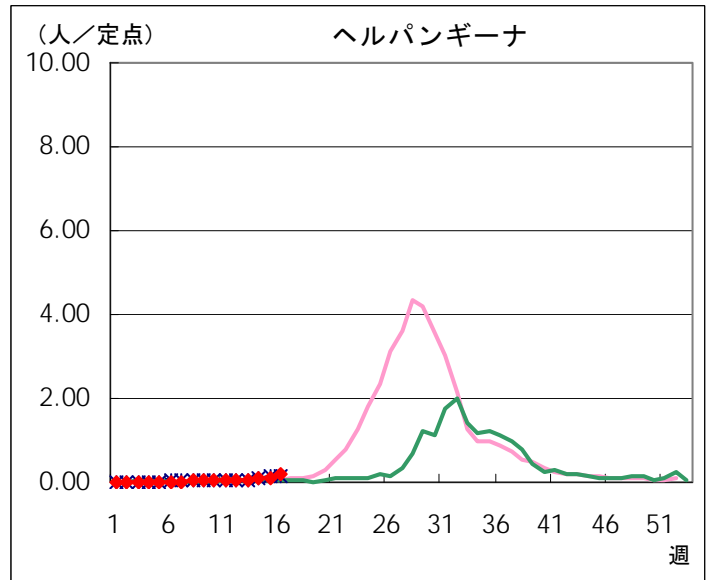
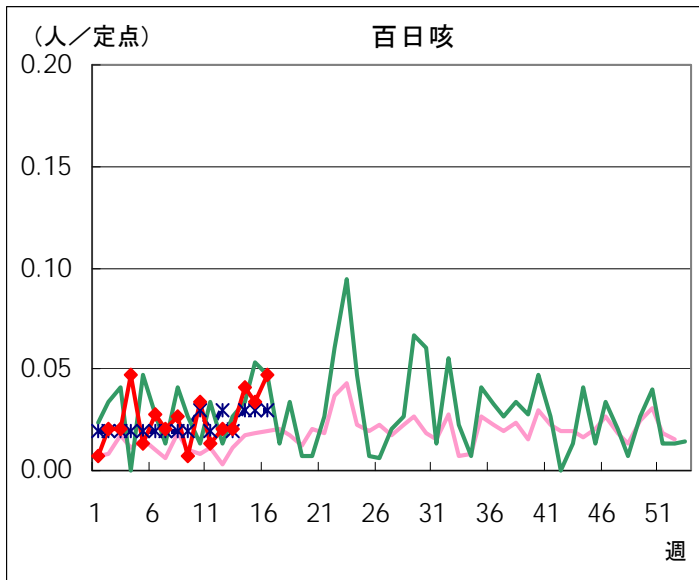
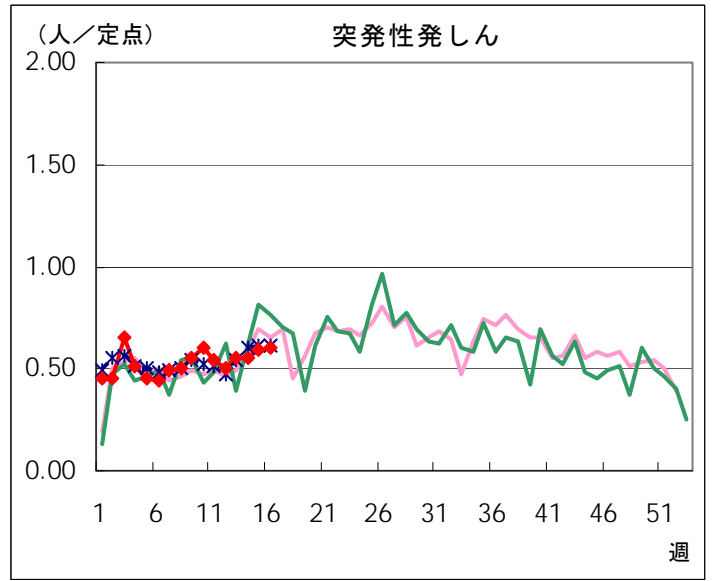
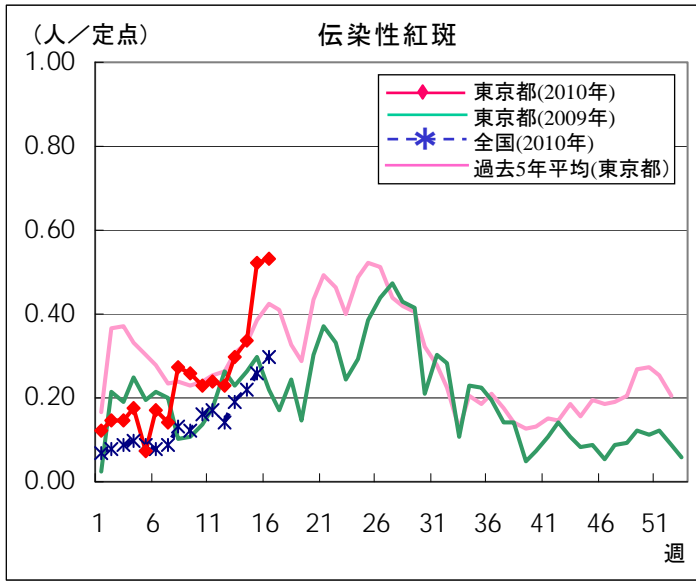
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				1.00	0.67					
中央区			1.33	10.67	4.33					
みなと		0.50	0.67	10.67	1.83	0.50	0.17	0.67	0.17	0.67
新宿区	0.17		0.50	4.00	0.83					
文京			0.67	7.00	1.00	0.67	0.67	0.67		
台東			3.67	14.00	2.00	1.33				
墨田区			0.33	6.00	1.33		1.00	0.67		
江東区			3.00	18.25	2.00	0.50	0.50	0.50		0.25
品川区			0.67	11.50	1.83		0.17	0.83		0.33
目黒区			1.00	5.67	0.67	0.67	0.33	0.33		
大田区	0.11	2.44	1.44	13.56	2.11		0.11	0.56		0.67
世田谷			1.00	10.50	1.13	0.13	0.25	0.63		
渋谷区		0.33	0.33	7.33	1.00		0.33	0.67		
中野区	0.17		0.83	9.00	1.17	0.67	1.17	0.83		
杉並			0.83	10.33	1.67		0.33	0.50		
池袋		0.20	0.40	4.20	1.60	0.40		0.20		
北区			1.00	7.75	1.75	0.25	0.50	2.25		
荒川区		0.50	0.50	17.00	2.50	0.50	2.00	0.50		1.50
板橋区			0.33	5.17	0.67	0.67		0.33	0.33	
練馬区		0.20	2.00	8.20	0.60	0.80	0.20	0.60	0.20	0.80
足立		0.20	1.60	12.00	1.40	0.20	2.00	0.40		
葛飾区			2.75	8.75	1.75	0.75	4.00	1.00		
江戸川			2.80	13.60	2.40	0.60	1.60	0.80	0.60	0.20
八王子市	0.50	0.75	6.00	26.25	4.00		2.25	1.75		0.50
西多摩			1.00	6.20	0.60		0.80	0.40		
南多摩			1.00	11.25	2.75			1.00		0.25
町田			6.75	22.25	4.25		0.25	1.50		0.25
多摩立川			0.67	4.33	0.67			0.17		
多摩府中			1.90	5.00	0.80		0.10	0.30		0.10
多摩小平		0.50	3.33	13.67	1.67	0.67		0.50		0.17
島しょ	2.00		1.00		1.00			1.00		
東京都	0.05	0.24	1.57	9.84	1.59	0.28	0.53	0.60	0.05	0.18

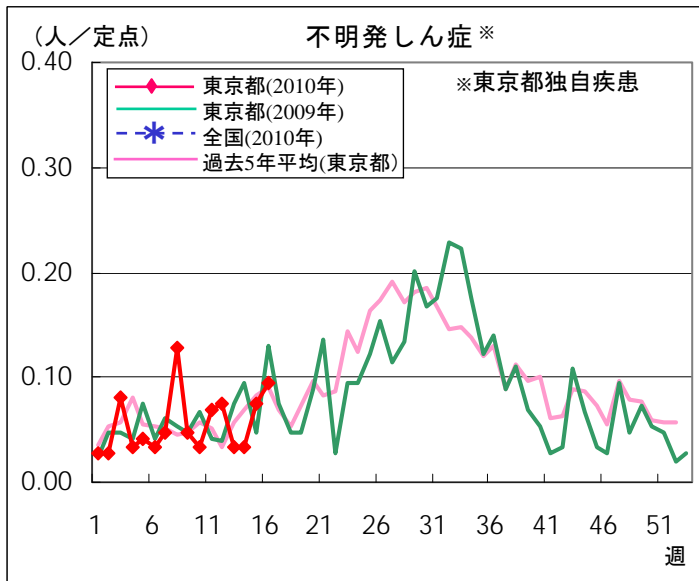
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区						1.00
みなと	0.50					
新宿区	0.33	0.17	0.17			2.50
文京	0.33					2.00
台東						
墨田区	1.33					
江東区	0.25					
品川区	0.17					
目黒区						3.00
大田区	0.67	0.44		0.06		1.00
世田谷	0.50			0.44		0.50
渋谷区	0.33					
中野区	0.33	0.33				1.00
杉並	0.33			0.17		
池袋	0.40					
北区	0.50					
荒川区		0.50		1.00		
板橋区						
練馬区	0.60			0.17		1.00
足立	0.40	0.40	0.20	0.17	0.50	0.50
葛飾区	3.25			0.11		
江戸川	0.40			0.08		0.50
八王子市	1.25	0.25		0.10		
西多摩	0.60	0.20				
南多摩	0.75					
町田	3.25	0.25		0.44		
多摩立川	0.33					
多摩府中	1.10	0.10		0.05		
多摩小平	1.83					
島しょ						
東京都	0.67	0.09	0.01	0.09	0.03	0.49

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年16週現在

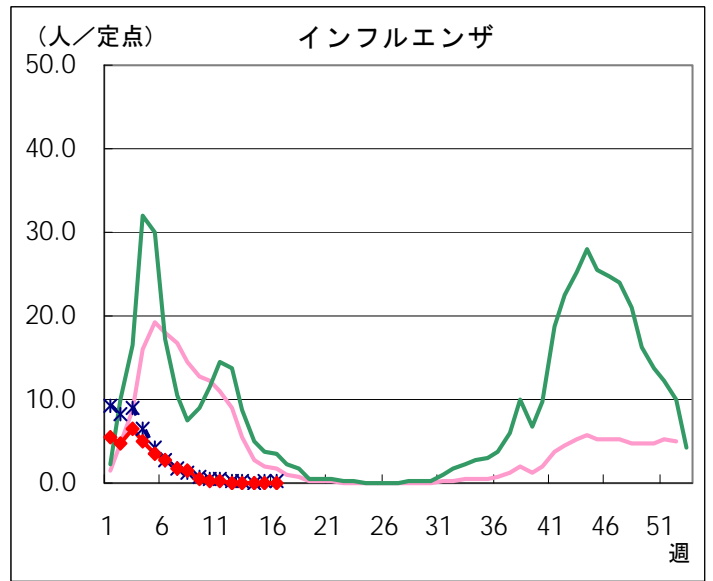
◆ 小児科定点



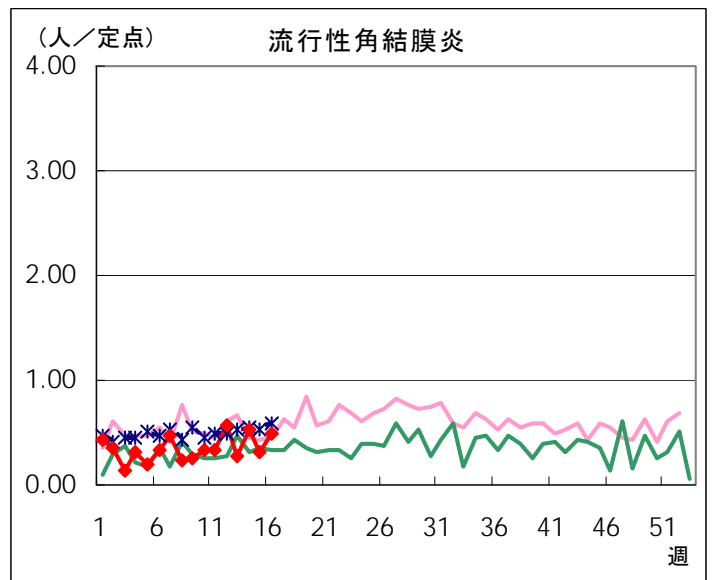
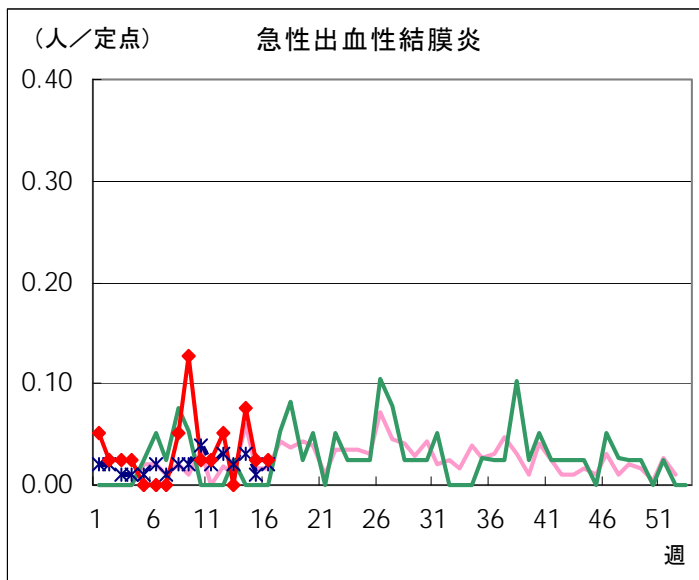




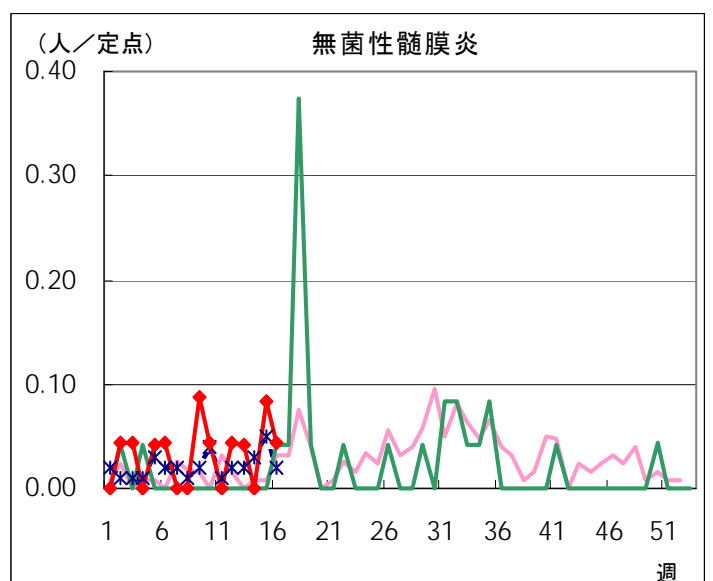
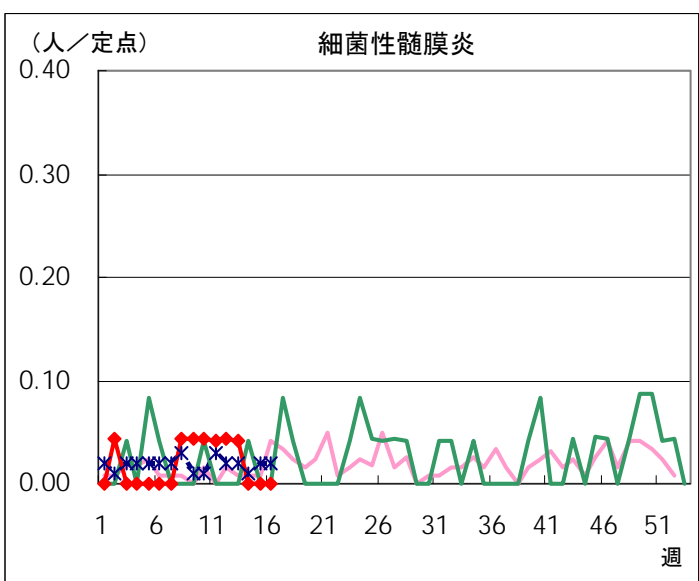
◆ インフルエンザ定点

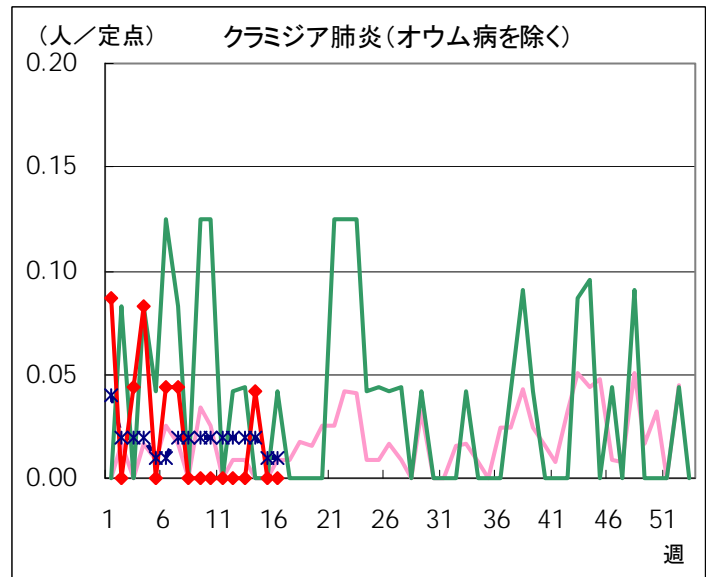
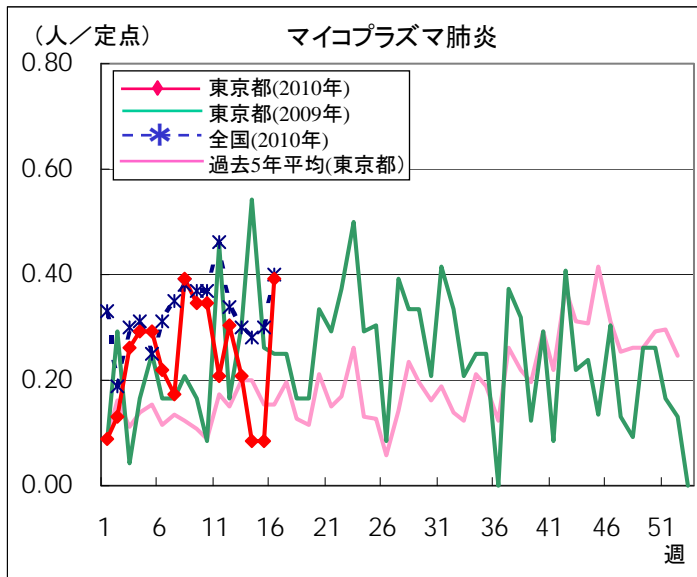


◆ 眼科定点

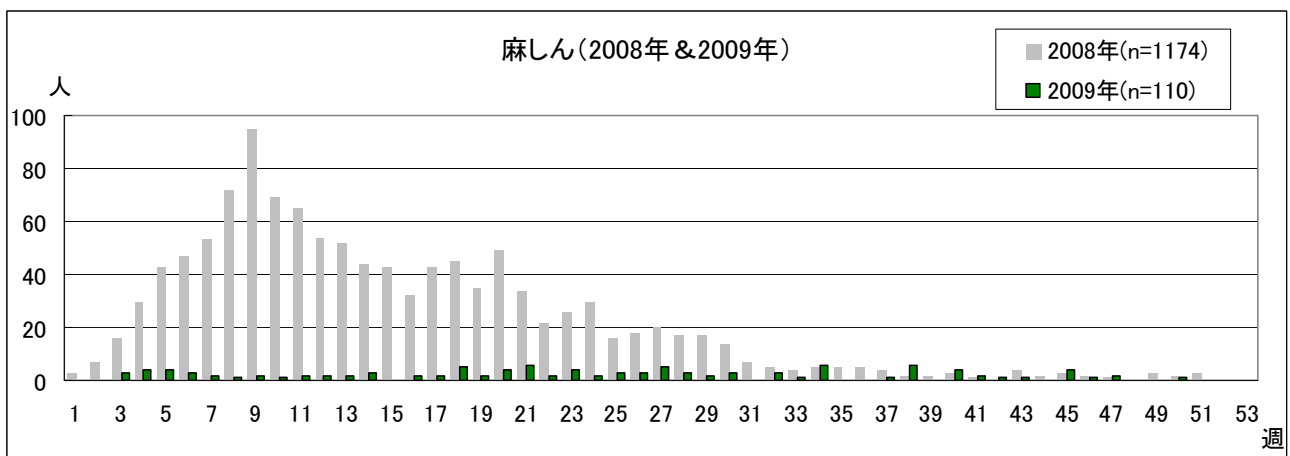
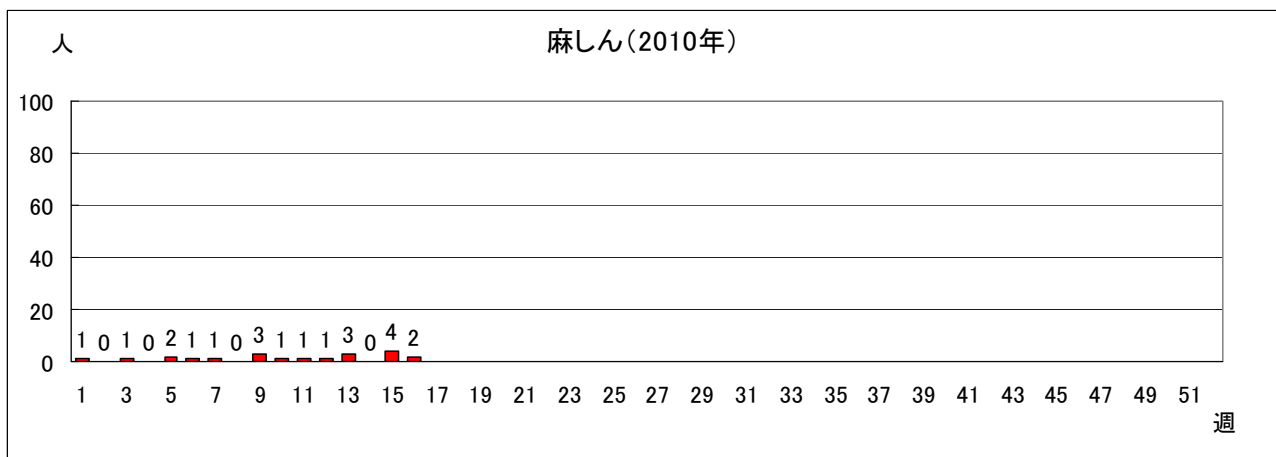


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年16週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/14	髄膜炎	1	髄液	EBウイルス	遺伝子
4/9	流行性耳下腺炎	4	喀痰	ムンプスウイルス	
4/10	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
4/11	けいれん重積	8	糞便	ノロウイルス	
			咽頭拭い液	アデノウイルス、EBウイルス	
4/11	発しん	3M	鼻汁	アデノウイルス、ライノウイルス	
4/12	カポジ水痘様発しん症	8	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型	
4/12	フィッシャー症候群	62	咽頭拭い液	EBウイルス	
4/12	横断性脊髄炎	69	咽頭拭い液	アデノウイルス、 単純ヘルペスウイルス1型	
4/12	インフルエンザ	15	鼻汁	アデノウイルス	
4/12	急性扁桃炎	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
4/13	ムンプス性髄膜炎	6	髄液	ムンプスウイルス	
4/13	流行性角結膜炎	40	結膜拭い液	アデノウイルス	
4/13	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
4/13	気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
4/13	アデノウイルス感染症	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
4/14	肺炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
4/15	急性気管支炎	4	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
4/15	急性気管支炎	6	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
4/15	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス メタニューモウイルス	
4/15	流行性耳下腺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ムンプスウイルス EBウイルス	
4/15	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
4/16	発しん症・気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
15週	0	0	0	0
今シーズン累計**	1	0	9	726

*：新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)。

**：2009-2010シーズンの開始は第36週(8月31日～9月6日)。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週
ウイルス	アデノウイルス	14	2	4	7		4	1	10
	ライノウイルス	3	1	3	6	2			4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1		1	1	2		1	
	単純ヘルペスウイルス	1	2			3	1		2
	水痘・帯状疱疹ウイルス	1			1	2			
	ヘルペスウイルス6/7		3	1	4	3	4	2	2
	EBウイルス			2	2	3	3	1	4
	サイトメガロウイルス	1			1			1	
	ムンプスウイルス	2	1	1	1		1	6	5
	麻疹ウイルス					1			
	風疹ウイルス					1			
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	5	3	2	5	2	4	1	
	ノロウイルス	2		1				1	1
	ロタウイルス	2	1	1	2	2			
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
インフルエンザウイルスB	1	1	2	2	2				
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	22	6	6	1					
デングウイルス(抗体を含む)				1					
その他のウイルス						1		3	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	4		4				1	
	その他の細菌	1						1	
その他の病原体		1							

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年8週～2010年15週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	60	26	50	34	18	3	1	4		3		19	16	2	1		127	
ウイルス	アデノウイルス	4	9	12	2			3				2	1				9	
	ライノウイルス		1	6	1		2					1		1			7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス			1						2		1						2
	単純ヘルペスウイルス							1										8
	水痘・帯状疱疹ウイルス														2			2
	ヘルペスウイルス6/7	1	1							1		8						8
	EBウイルス		2			1						1	2					9
	サイトメガロウイルス			1														2
	ムンプスウイルス					3								13				1
	麻疹ウイルス											1						
	風しんウイルス																1	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス		4	18														
	ノロウイルス			1	3													1
	ロタウイルス				7													1
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB	8																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	35																	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス			4															
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		7					1									1	
その他の細菌							1										1	
その他の病原体			1															

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2010年3月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	112	2.07	54	55
		女	94	1.74		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	58	1.07		
		女	41	0.76		
	尖圭コンジローマ	男	44	0.81		
		女	16	0.30		
	淋菌感染症	男	73	1.35		
		女	19	0.35		
	膺トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	15	0.28		
梅毒様疾患	男	5	0.09			
	女	0	0.00			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	48	2.09	23	24
		女	27	1.17		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	42	1.83		
		女	24	1.04		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	0	0.00		
		女	0	0.00		

2010/4/15

* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2010年3月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3		1	3		
20～24歳	17	3	4	11		
25～29歳	19	7	6	13		1
30～34歳	22	10	9	19		3
35～39歳	16	10	9	11		1
40～44歳	14	6	7	7		
45～49歳	11	8	5	5		
50～54歳	9	4	1	4		
55～59歳	1	5	1			
60～64歳		3	1			
65～69歳		1				
70歳～		1				
合計	112	58	44	73		5
先月数	112	58	46	61		3
増減数			-2	12		2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳	1			1		
15～19歳	12		2	1	1	
20～24歳	28	9	2	7	2	
25～29歳	25	8	3	6	4	
30～34歳	14	8	4	1	1	
35～39歳	9	4	3	1		
40～44歳	3	2		1	4	
45～49歳	2	1		1	1	
50～54歳		1	2		1	
55～59歳		2				
60～64歳		1			1	
65～69歳		2				
70歳～		3				
合計	94	41	16	19	15	
先月数	73	40	31	7	14	1
増減数	21	1	-15	12	1	-1

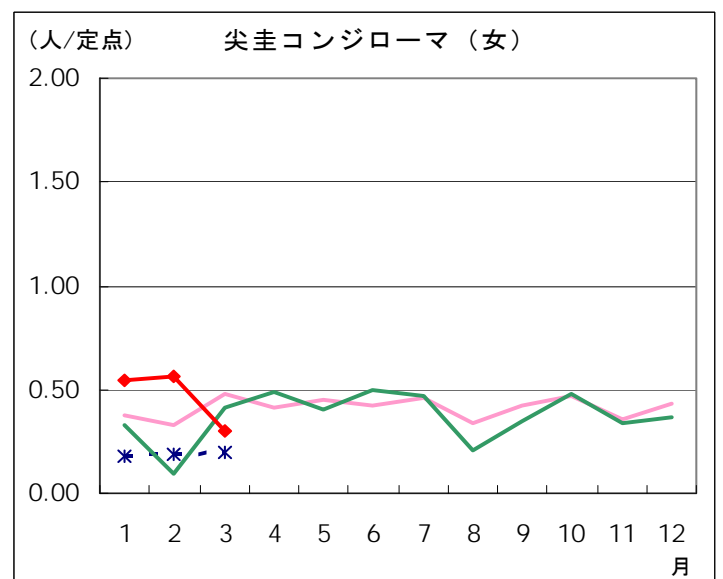
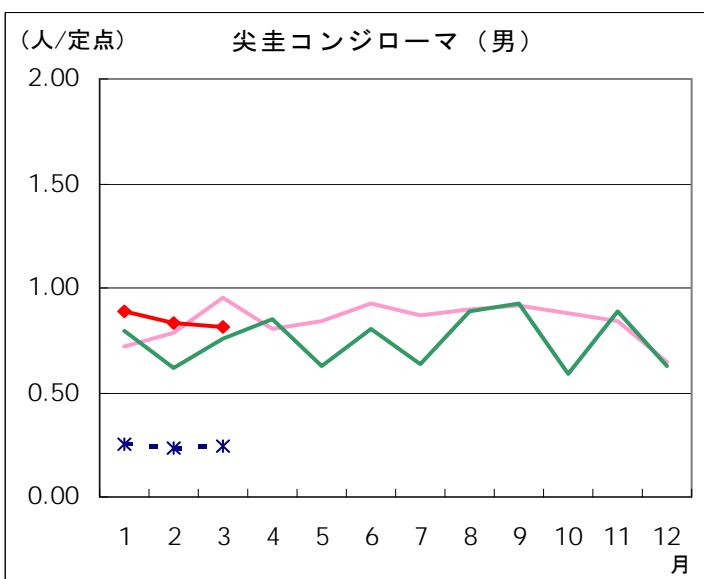
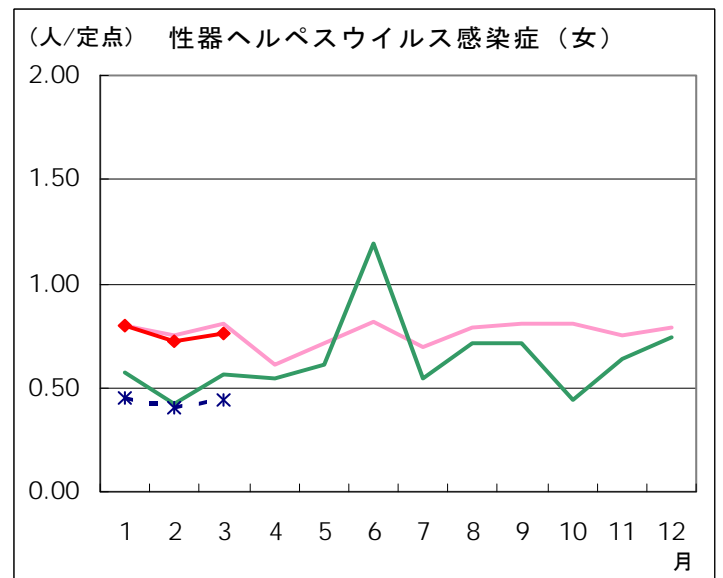
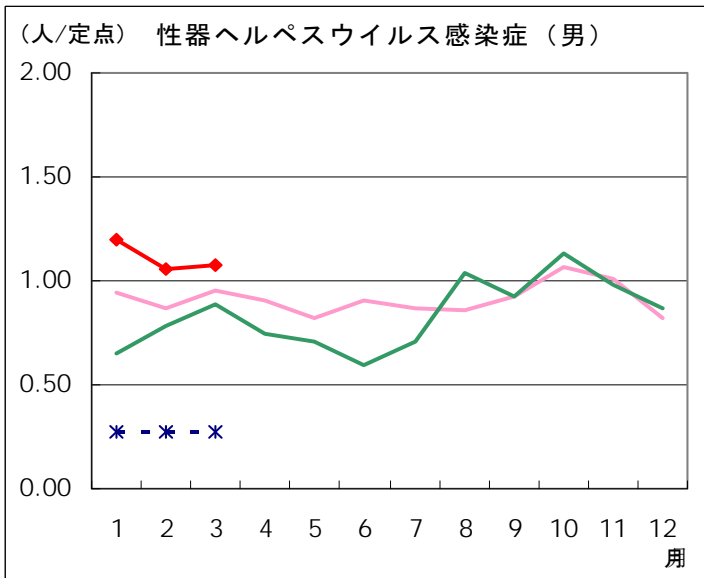
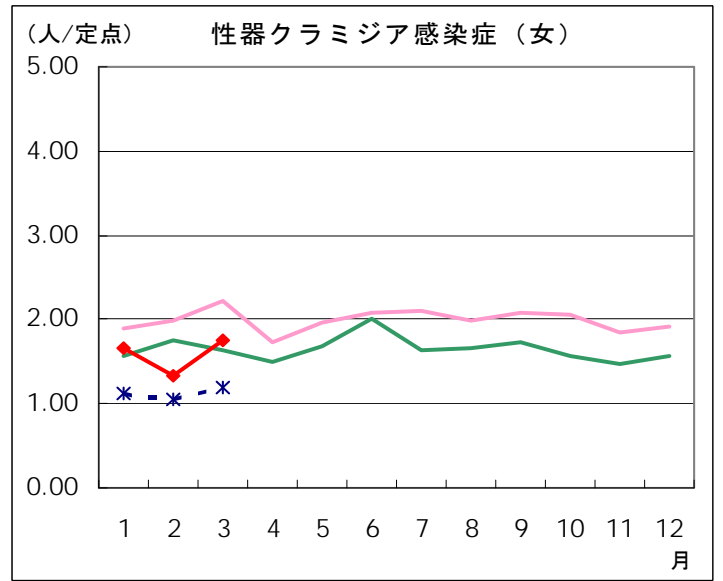
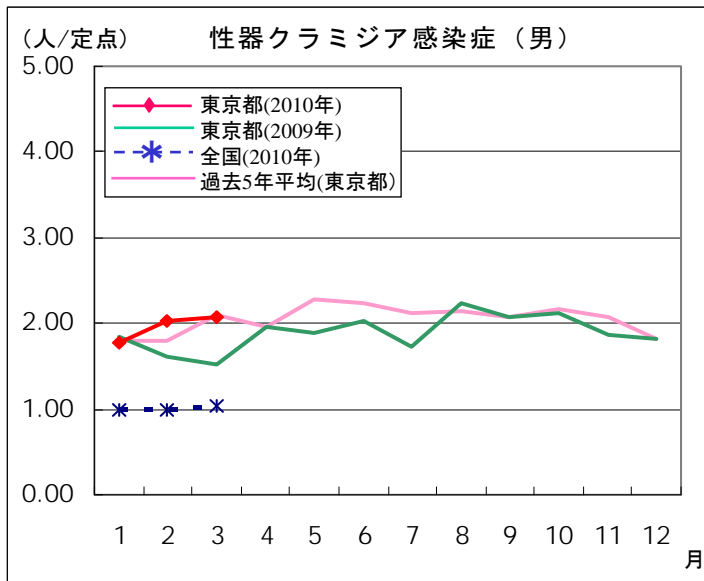
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2010年3月

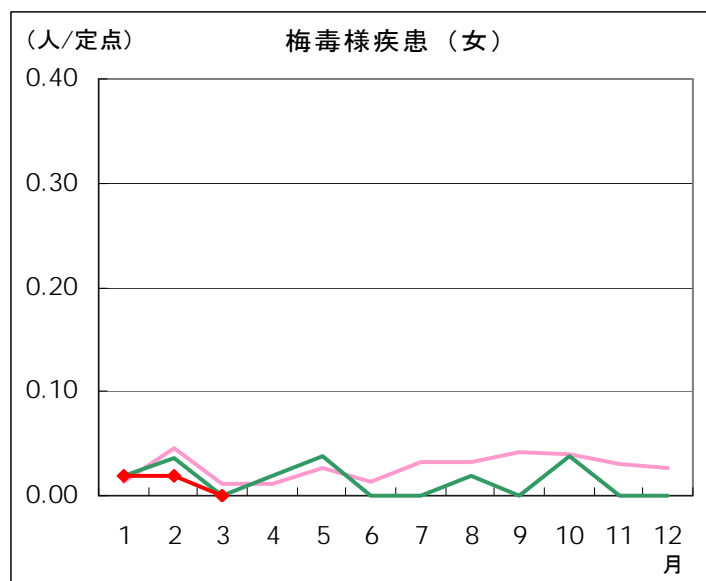
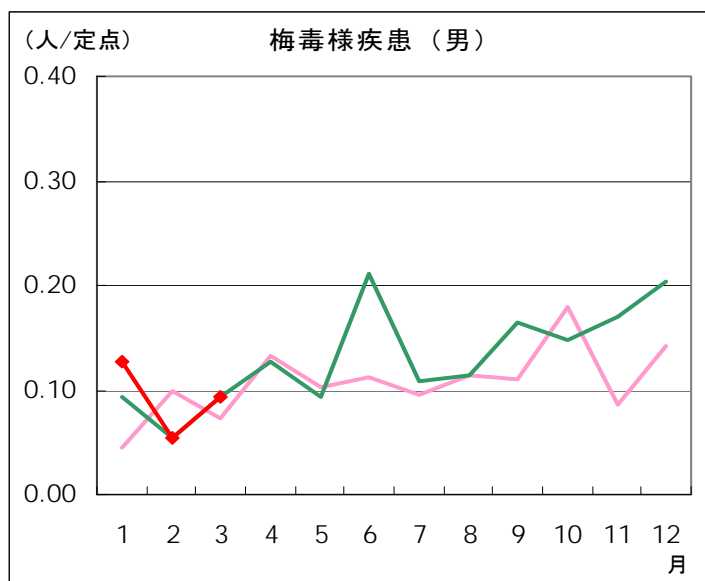
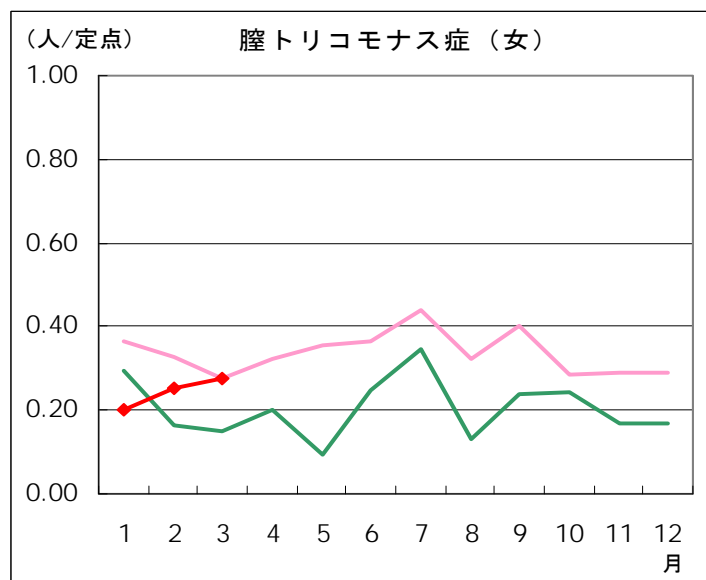
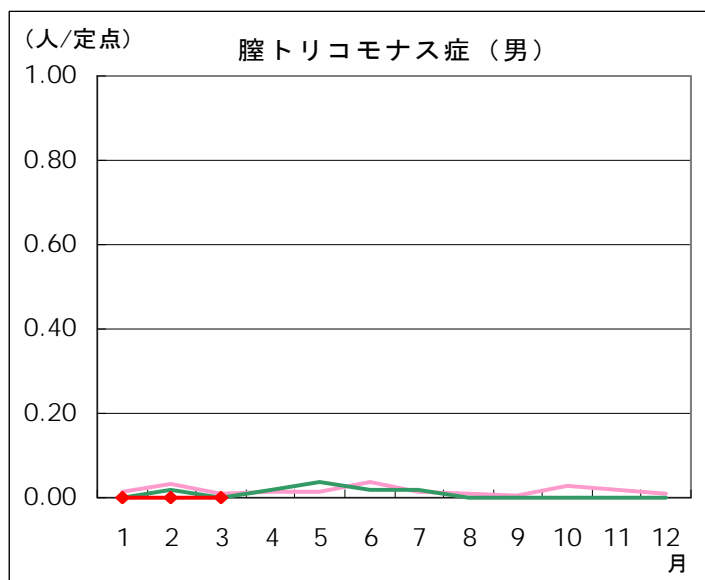
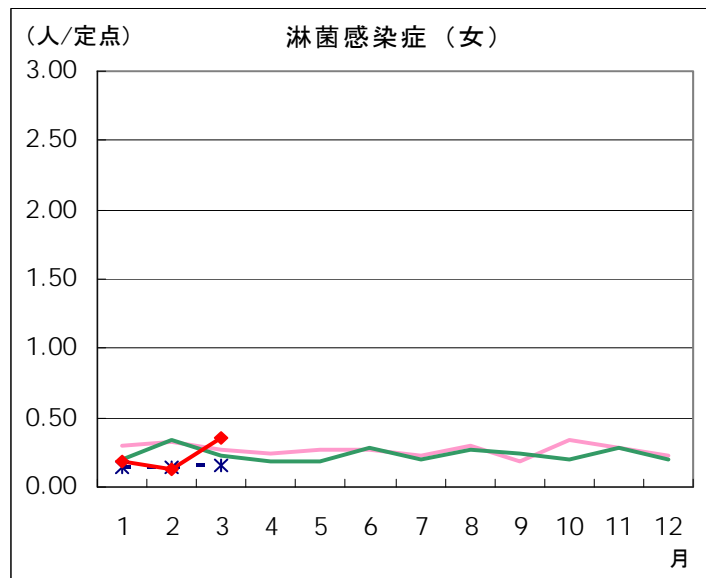
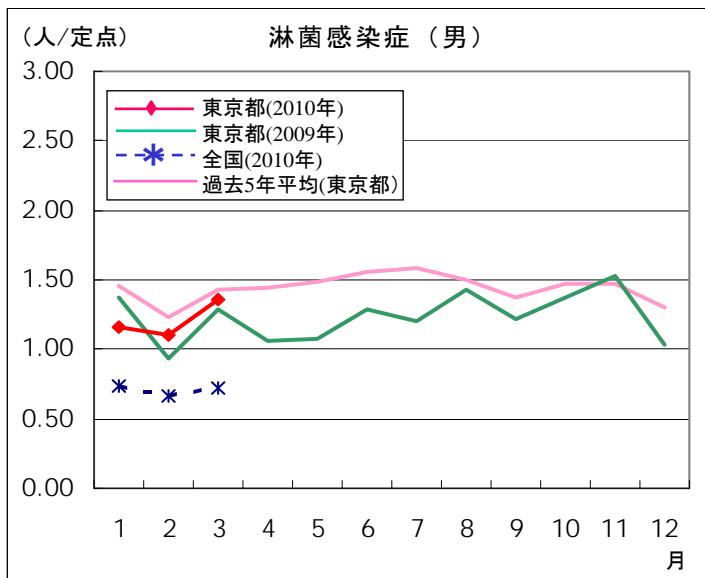
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	9		5	10		
中央区	3	8					
みなの	2	9	26	6	3		
新宿区	7	32	13	16	25		4
文京	1	5	2	1	2		
台東	2						
墨田区	2		1	1			
江東区	2	13	4	3	8		1
品川区	1			1	1		
大田区	2				1		
渋谷区	4	6	2	2	2		
中野区	2	6	1		3		
杉並	2		1		1		
池袋	3	13	5	4	10		
北区	1			1			
荒川区	1						
板橋区	2	1		1	5		
足立	2	5	3		1		
江戸川	2	4		3			
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	1			1		
多摩小平	1						
合 計	54	112	58	44	73		5
定点当たり		2.07	1.07	0.81	1.35		0.09

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1				1	
中央区	3	4			2		
みなの	2	3	9	1	1	2	
新宿区	7	10	5	5	3	1	
文京	1						
台東	2	4	3			1	
墨田区	2	1	1			2	
江東区	2	3					
品川区	1						
大田区	2	5					
渋谷区	4	4	5	4		1	
中野区	2			2		1	
杉並	2	1	1				
池袋	3	10	6	1	4	2	
北区	1		1				
荒川区	1	4	3		2		
板橋区	2	11	4				
足立	2	1					
江戸川	2	7			4	1	
八王子市	4	12		2	1		
町田	1	1	1			2	
多摩立川	2	12	1	1	2	1	
多摩府中	3						
多摩小平	1		1				
合 計	54	94	41	16	19	15	
定点当たり		1.74	0.76	0.30	0.35	0.28	

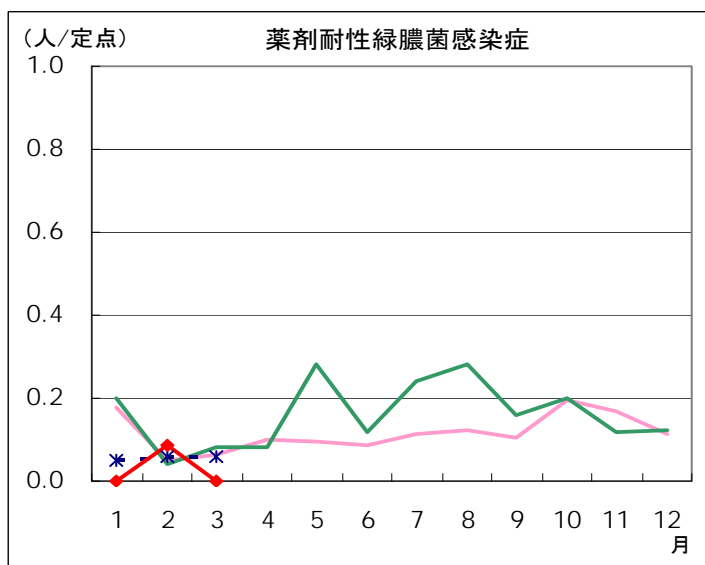
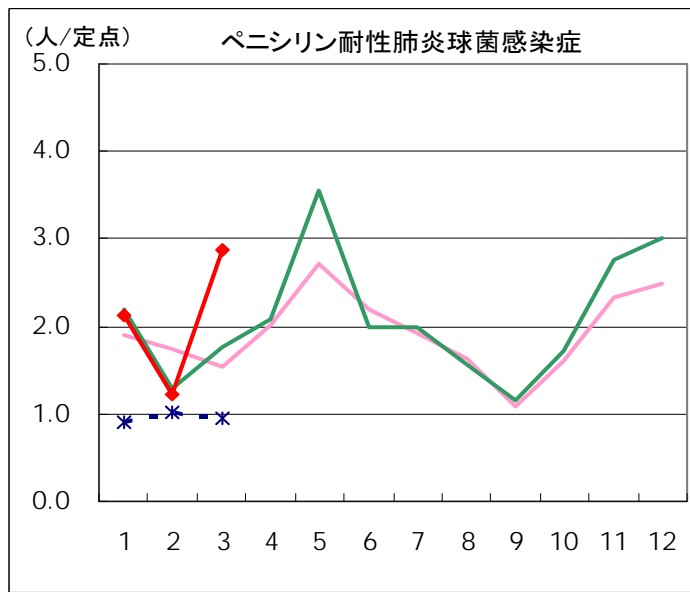
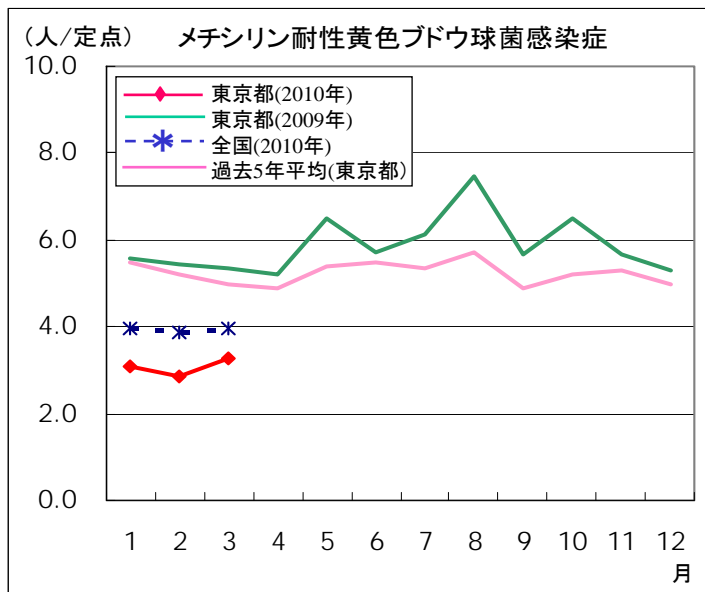
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2010年3月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



3月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
3/8	陰茎ヘルペス	71	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
3/8	淋菌性尿道炎	43	男	尿	淋菌	
3/10	子宮頸管炎	43	女	陰部尿道頸部擦過物/ 分泌物	<i>Candida albicans</i>	分離同定
3/11	陰茎コンジローマ	28	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
3/17	陰茎ヘルペス	58	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
3/18	尿道炎	32	男	尿	クラミジア	
3/18	尿道炎	26	男	尿	クラミジア	
3/23	淋菌性尿道炎	33	男	陰部尿道頸部擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
3/24	陰茎コンジローマ	48	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
3/24	淋菌性尿道炎	30	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
3/25	尿道炎	18	男	尿	クラミジア、淋菌	
3/29	尿道炎	47	男	尿	クラミジア	遺伝子
3/31	尿道炎	44	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定

<感染症豆知識>

インフルエンザ 2009.5～2010.3

2008/09 シーズンの流行が終息に向っていた4～5月に AH3 亜型の再増加が報告されていたが、この頃に、新型 AH1pdm が国内に侵入してきたと考えられる。AH1pdm は5月以降、夏も増加を続けるという従来の季節性インフルエンザではみられない特異な流行パターンを示した。そのまま2009/10 シーズンの流行は AH1pdm 一色となり、例年より約2ヶ月早い11月末をピークに減少した。ピークの高さは過去10シーズンで2番目であったが、定点当たり1.0を超える期間が2009年第33週（8月）から2010年第8週（2月）まで29週間継続するという長期の流行となった。インフルエンザ定点を受診した患者数からの推定では、全国の医療機関を受診した新型インフルエンザ患者数は2千万人を超えている。

AH1pdm が国内で最初に検出された2009年5月以降2010年2月までに全国の地方衛生研究所で検出されたインフルエンザウイルスは約31,000で、AH1pdm が96%を占めている。このうち、AH1pdm4,307株の解析でオセルタミビル耐性株が61株1.42%見つかっている。

2010年2～3月に季節性インフルエンザウイルスでは AH3 亜型と B 型が少数報告されているが、AH1 亜型は日本では2009年9月以降検出されていない（中国などでは報告あり）。

北半球の2010/11シーズン用のワクチン株として WHO は、AH1 亜型は季節性のソ連型から新型 A/California/7/2009 (H1N1)pdm 類似株へと置き換え、大きな抗原変異が起こった AH3 亜型は A/Perth/16/2009 (H3N2) 類似株を、B 型は引き続きビクトリア系統の B/Brisbane/60/2008 類似株を推奨している。

（文責 国立感染症研究所感染症情報センター 山下和予）